



21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属 竹詰ひとし参議院議員 決算委にてJR東海ユニオンの課題を質疑 鉄道予算の拡充や運賃制度の柔軟化を国交大臣に求める！！

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する竹詰ひとし参議院議員（JR東海ユニオン推薦）は、5月27日、参議院決算委員会において、鉄道予算の拡充、鉄道運賃制度の見直し、鉄道の潤滑油調達、費用便益分析（B/C）の見直しについて質疑を行った。

竹詰議員は冒頭、「**鉄道予算は、道路の20分の1と低い。整備新幹線に関わる鉄道局予算を拡充するべき**」「**鉄道運賃制度は、燃料費の高騰を踏まえたインフレ対応制度を設けるべき**」と金子恭之国土交通大臣に主張した。金子大臣は、「**鉄道局予算の増額への応援を頂き、感謝する。将来にわたって鉄道事業が維持されるためには、鉄道運賃に物価上昇等が適切に反映されることが重要。引き続き、鉄道事業者や利用者の声を伺いながら、適切に対応していく**」旨の答弁を引き出した。

続いて、中東情勢を受け、鉄道の車両メンテナンスに必要な潤滑油等の安定的な調達について、実態把握と有効な対処を求めた。これに対し、国土交通省の五十嵐徹人鉄道局長は、「4月以降、地方運輸局と連携し、鉄道事業者に対し、潤滑油等の資材調達状況を調査しており、相談、要請を受けた場合は、流通における目詰まり箇所を特定し、え、必要に応じて経済産業省に対応を要請するなど、鉄道事業の運営に影響が出ないように対応している」「現時点で鉄道事業者から潤滑油等の不足により列車の運行に支障が生じているとの報告は受けていない」旨、答弁した。



竹詰参議院議員



金子国交大臣



竹詰ひとしの「たけちゃんねる」公式YouTubeチャンネル

東電労組&竹詰参議院議員との意見交換

◎参議院議員会館

5月22日に開催した第3回書記長会議では、東京電力労働組合・竹詰ひとし参議院議員との意見交換会を開催した。同会は二部制とし、前半は、東電労組政治連盟の山崎英世会長・金谷慶国会長代理と「組織内議員を抱えて政治活動を行う上での意義や苦勞」等について意見交換を行った。後半は竹詰議員と直接対話し、「どのような提言が政策実現に繋がるか。組合員に政治を身近に感じて貰うためにはどうすれば良いか」といった点について活発に意見交換を行った。

参加した各書記長からは、東電労組の取り組みについて「労使が一体となって産業を発展させる姿勢や地域を大事にする姿勢が印象的だった」との声が寄せられた。また竹詰議員に対しては、「皆さんを身内のように感じる」との言葉から親近感を覚えた。「現場の声」を非常に大事にしている旨の言葉があり感銘を受けた」との声も寄せられた。

我々は今回の取り組みを来る統一地方選や第28回参院選に向けた糧とし、政治・政策活動の更なる充実を図っていく。



当日の様子（竹詰議員を囲んで）

